同志社大学政策学部教育ＧＰ主催

シンポジウムテーマ:

ローカルメディアと地域の再生

―地域の固有価値を発信する

質の高い大学教育プログラム（教育ＧＰ）
同志社大学政策学部PBL教育と京都府地域再生活動との連携

■コーディネーター
井口　貢(同志社大学政策学部教授)

【基調報告】
固有価値を活かした地域再生
―２つのゼミの取り組み―

■パネルディスカッション
大島祥子(スーク創生事務所代表)
桑原利彦((有)トライアド代表取締役)
塩見直紀(半農半Ｘ研究所代表)
森口清滋(ＮＰＯ法人赤煉瓦倶楽部舞鶴理事)
滋野浩毅(同志社大学政策学部嘱託講師)

【進行】
多田　実(同志社大学政策学部教授)

[学生と市民(自由参加)との意見交換会]

■日時
12月13日㊐
14:00～16:30

■場所
同志社大学
新町キャンパス
臨光館302号室

■参加費無料、事前申込み不要■

大島 祥子(おおしま さちこ)
スーク創生事務所　代表

京都生まれ。京都府立大学大学院修了。一級建築士、技術士(建設部門)。都市計画やまちづくりの調査研究、プランニングやコーディネートに従事。NPO活動として楽洛まちぶら会、都市居住推進研究会などの事務局をつとめる。
『京・まちづくり史』(共著、昭和堂、2003年)
『ケースで学ぶソーシャルマネジメント』(共著、文眞堂、2009)
『まちづくりコーディネーター』(共著、学芸出版社、2009)

桑原 利彦(くわはら としひこ)
(有)トライアド　代表取締役

11才よりギターを始め、高校在学中よりギタリスト小原聖子氏の門下となり、クラシックギター奏法・音楽理論等を学ぶ。その後様々なスタイルを取り入れ、現在、長野県飯田市を拠点に、幅広い演奏、作曲活動及び指導を行う。
地域の文化に関わる様々な活動も積極的に行いっている他に、
様々な音楽イベントの企画プロデュース、文化と街を育てる為に生まれた
市民団体「ＩＩＤＡ ＷＡＶＥ」のヘッド・プロデューサーなど多方面で活動中。

塩見 直紀(しおみ なおき)
半農半Ｘ研究所　代表

京都府綾部市生まれ。カタログ通販会社フェリシモを経て、半農半Ｘ研究所を設立。
２１世紀の生き方、暮らし方として、「半農半Ｘ(エックス＝天職)」というコンセプトを提唱。
市町村から個人までのエックスを応援するミッションサポートとコンセプトメイクがライフワーク。
著書に『綾部発　半農半Ｘな人生の歩き方88』、『半農半Ｘの種を播く』(共編著)など。
『半農半Xという生き方』は中国語訳もされている。

森口 清滋(もりぐち せいじ)
特定非営利活動法人　赤煉瓦倶楽部舞鶴　理事

1958年　舞鶴市生まれ。大学卒業後、地元に帰り、舞鶴市役所に入庁。
1990年「まいづる建築探偵団」を8名で発足し、市内の赤煉瓦建物の調査研究を開始。
以降、ライトアップ、赤煉瓦マップ作成、音楽イベント等を実施。
2007年「海軍割烹術参考書」(1908年舞鶴海兵団発刊)を復活させ、
赤煉瓦や海軍食を活かしたまちづくりを進める活動を行っている。